

# 野添遺跡発掘通信 1 (9月号)

令和4年9月15日発行

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

## ・野添遺跡 これまでの発掘調査

野添遺跡は、豊橋市の石巻地区に所在します。現在の行政区画である豊橋市は、古代における律令制の行政区画としては三河国渥美郡および宝飯郡、八名郡の一部に該当し、石巻地区は豊橋市域の北側に位置し、豊川市や新城市とも近く、八名郡の中央部になります。

野添遺跡ではこれまで、平成25年に東三河環状線(県道31号)の東側の部分(西下地)にて発掘調査を行い、8～9世紀の竪穴建物や掘立柱建物が複数確認され、12～13世紀には区画溝と考えられる大溝が確認されています。出土した遺物は、主に古代の土師器、須恵器、灰釉陶器などです。

今年度の発掘調査地点は、その西側に当たることから同じような複合遺跡としての調査結果が期待できます。調査区は3地区あり、東から西に「22A区」「22B区」「22C区」と呼称し、調査面積は合計4,055㎡です。

## 野添遺跡発掘調査 地元説明会のお知らせ

令和4年度の発掘調査について、下記の日程で説明会を開催致します。

日時：令和4年10月8日(土) 午前11時～12時 少雨決行

場所：野添遺跡発掘調査現場 駐車場で概要説明を行った後、発掘現場を見学していただきます。

また、今回の発掘調査で出土した遺物の展示を現場テントで行います。

連絡先：(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

調査課 (0567-67-4163) / 調査担当 田中 良 (080-1571-4979)

ホームページ <http://www.maibun.com/>

調査協力会社

株式会社アーキジオ中日本支店(052-799-8751)

現場代理人 河野 潤(080-6352-4094)



## ・令和4年度の発掘調査成果

現在、最も西側の調査区である「22C区」の調査を行っています。遺構検出作業中で、平安から近世前期にかけての遺構が確認されています。中でも中世の遺構では、方形状に区画された大溝が確認されており、その区画された内側に掘立柱建物跡が確認されています。また、調査区西隅では、北へまっすぐ延びる大溝が検出されており、前述の区画溝とは性格が異なる遺構であると考えられます。出土遺物は、主に大溝から古代の土師器片や須恵器片、中世では古銭や山茶碗片、青磁片、天目茶碗片などが出土しています。



写真1 22C区 掘立柱建物跡を含む大溝



遺構検出は、平面で遺構を見つける作業で、地山との土質の差で遺構を探します。その後、遺構を半分だけ掘り、深さや形状を把握し、記録をとります。

写真2は写真1で検出した掘立柱建物跡の柱穴を掘削している最中です。

写真2 22C区 掘立柱建物跡の柱穴 掘削作業風景



写真3は写真2と同じ掘立柱建物跡の柱穴の断面です。中央の黒い部分が柱痕（または柱が抜き取られた跡）で、両側の黄色い土がまばらに入る部分が柱を固定する際に埋めた掘り方になります。

説明会では、掘立柱建物跡と大溝の関係を調査区にて体感していただきます。

写真3 22C区 掘立柱建物跡の柱穴 遺構断面